

平成 22 年度第 2 回出雲市入札制度等監視委員会

議事概要

開催日及び場所	平成 22 年 12 月 2 日（木）10 時 00 分～12 時 00 分 出雲市役所 5 階 入札室		
委員	委員長 野村 泰弘（島根大学教授） 委員 河原 莊一郎（松江工業高等専門学校教授） 周藤 滋（弁護士） 三原 諤（出雲市自治会連合会副会長） 横田 笑子（税理士）		
審議対象期間	平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日		
報告事項	（1）入札方式別発注工事の状況について （2）指名停止の運用状況について （3）低入札価格調査制度の運用状況について （4）苦情処理の運用状況について		
審議事項	抽出案件（3件）	備 考	
	一般競争入札	1. 出雲市文化施設非常用発電機等改修工事 2. 北本町南本町線 4 工区外道路改良工事	抽出の考え方 （抽出担当 横田委員） ・入札方式の一般入札と指名入札を選び、それぞれの中で部局・担当課が重複しないように、落札率の高いものを抽出した。
	指名競争入札	3. 荒木小学校下水道接続工事	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申または勧告の内容	なし		

【報告事項について】	
(3) 低入札価格調査制度の運用状況について	
意見・質問	回 答
<p>①低入札において、数値的判断基準の予測は可能か。業者は、失格の基準を知っているのか。</p> <p>②低入札で失格となる件数は年間どれくらいあるのか。</p> <p>③制度はいつからあるのか。</p> <p>④平成19年の制度が始まって以来、調査基準額の変動しているのか。</p> <p>⑤こういう事案は国へ報告するのか。</p> <p>⑥低入札をすると、下請けにしわ寄せがないかなどのチェックをすることができるか。</p>	<p>①低入札で設定する数値的判断基準の設定は公表しているのので、ある程度金額の推測は出来る。</p> <p>②数値的判断基準を下回って失格になったものは、3件ある。</p> <p>③平成19年から実施している。</p> <p>④基準額については、国が率を上げてきたので、出雲市も合わせて今年1月に上げた。</p> <p>⑤件数については報告している。</p> <p>⑥下請けについては、口頭発注や注文書ではなく、必ず契約書ですることなどの条件が契約書に加わる。</p>
【審議事項について】	
1) 出雲市文化施設非常用発電機等改修工事	
意見・質問	回 答
<p>①三ヶ所の施設が一括入札となっているが理由は何か、三件に分けることは可能か、分けた場合に、4百万円規模になる。そのあたりは検討の際に問題はなかったか、また、入札方法に違いがあるか</p> <p>②入札の方法が違って来ると一方では参加できるものが参加できなくなり、入札できる業者が違ってくるのではないか、そういう点は考慮したか。</p> <p>③施設は別か。</p> <p>④同じ時期にやらなければいけないか。</p> <p>⑤今回は文化スポーツ課の管轄で一括となったが、別の課であれば一括にならないか。</p>	<p>①三件に分割か一括か検討したが、同種の工事、製作品の据付が大部分を占めたことから、経費の削減も考えて、一括発注とした。 三件に分けることは、可能であるが経費的に高くなると判断した。 三件に分けると金額が小さくなり、指名競争入札になる。</p> <p>②検討は、工事の内容に付いてのみ行った。業者は違ってくるが、経費の安さを優先した。</p> <p>③距離的には10キロぐらい離れている。</p> <p>④時期的には、利用の少ない時期に工期を設定している。</p> <p>⑤一括にならない。</p>
2) 北本町南本町線4工区外道路改良工事	
意見・質問	回 答
<p>①総合評価方式のメリットは何か。土木工事が多いのか。入札参加者が1社しかないのはなぜか。</p>	<p>①総合評価のメリットは、工事の施工上の提案を上げてもらい、住民に対する配慮や、施工上の工夫をすることで工事の質が上がり、住民に対する配慮や、安全、品質への配慮が出来るというメリットがある。また、提案したことをしないと、減点される場合もある。</p>

<p>②出雲市は、総合評価方式の型で、特別簡易型以外をやっているのか。</p> <p>③技術点の評価は誰がするのか。</p> <p>④島根県も総合評価方式をしているのか。</p> <p>⑤これまでのこの路線の工事は、どういう状況か。</p> <p>⑥競争参加資格委員会の構成員はどういうメンバーか。</p> <p>⑦総合評価方式は金額だけではない、技術力となっているが、項目の中の加算点に地域貢献度あるが価格・技術力とは違うのではないか。総合評価方式の内容は公表しないのか。</p> <p>⑧地域貢献度は、他の自治体でも評価項目にしているのか。</p>	<p>土木工事以外にも、電気工事、建設工事がある。</p> <p>1社しか参加しなかったということについては、市街地において路床安定処理を行わなければならないことが、敬遠されがちな工事になったのかもしれない。</p> <p>②特別簡易型のほか簡易型を採用している。今年度は、簡易が1件、特別簡易が4件となっている。</p> <p>③総合評価方式競争参加資格委員会と技術審査会がありこの中で審査している。</p> <p>④県もしている。</p> <p>⑤平成7年～12年の工事を400m、平成12年～17年の工事を300m行なった。</p> <p>⑥委員長は副市長、及び発注した部に属する部の部長と課長で構成している。</p> <p>⑦入札広告により総合評価に係る評価内容及び点数は公表している。地域貢献度の項目を設けているのは、市を支える企業としてどれだけ貢献しているかということの評価している。</p> <p>⑧県にもある。</p>
--	---

3) 荒木小学校下水道接続工事

意見・質問	回答
<p>①指名競争入札では、施工上、出来る出来ないを判断して指名するのか。</p> <p>②10社中6社が辞退しているがこういうことはよくあることか。</p> <p>③一時期に同じ工事が集中すると、工事を取りに行こうと思っても取りにいけないことがある、そのあたりのバランスはどうしているのか。</p> <p>④こうした工事の入札は同じ時期にあるのか。</p> <p>⑤県の工事も把握しているのか。</p>	<p>①特殊な工事でない限り、入札参加申請をした業者を指名している。</p> <p>②工事は、市ばかりでなく、県もあり、電気であれば民間工事もある。指名しても、作業員・技術者などの社員が、他の工事等で拘束されているなど、会社が手一杯な場合とか、内容を見て、応札しないなど、会社の都合で辞退となる。</p> <p>③市としては、工事の発注が、なるべく平準化するよう努めている。</p> <p>④教育施設関係の工事は小中学校・幼稚園の工事を行なっている関係で、その性格上、児童生徒などの安全確保の観点から夏休み中心の発注となる。</p> <p>⑤県の工事と現場が重なる工事は協議している。なお、県・国・出雲市は発注見通しをインターネットで公表している。</p>

3) 今後の予定

- ・ 次回開催日 平成23年5月（日時は別途調整）
- ・ 審議案件の抽出は三原委員が担当し、抽出方法は無作為とする。